

令和6年度 科目試験評価票

科目コード	34500	科目名	特別支援教育(令和元年度入学生より)	問題番号	1
科目試験配点基準					
配点	評価規準	よく書けている(A)	おおよそ(B)	もう少し(C)	
5	病弱について正しい状態を説明している。	病弱について正しい状態を説明している。	病弱について説明しようと試みられている。	病弱に関する説明が誤っているか、書かれていない。	
5	身体虚弱について正しい状態を説明している。	身体虚弱について正しい状態を説明している。	身体虚弱について説明しようと試みられている。	身体虚弱に関する説明が誤っているか、書かれていない。	
15	病弱・身体虚弱の具体例が2つ以上挙げられている。	病児弱・身体虚弱の具体例が2つ以上挙げられており、どのような制限があるかも述べられている。	1例だけ正しく述べられている(7点)。例のみ述べられ、制限については全く触れられていない(3点減点)。	具体例として不適切な例を挙げているか、書かれていない。	
5	校務分掌の一つであることが明示されている。	校務分掌の一つであることが明示されている。	/	記述がない。	
10	校内委員会の企画運営について説明されている。	校内委員会の企画運営について説明されている。	校内委員会の企画運営を行うことに触れている。	記述がない。	
10	支援員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどとの連絡・調整について説明されている。	支援員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどとの連絡・調整について説明されている。	学外の関係者との連絡調整について触れている。	記述がない。	
10	貧困の子どもに対する支援として、根拠となる法律の名称が正しく述べられている。	「子どもの貧困対策の推進に関する法律」であることが述べられている。	「子供の貧困対策法」と略称が述べられている(5点)。	名称が誤っている、または記載がない。	
40	貧困の子どもに対する支援について、2つのポイントから正しく説明されている。	「困窮した状態に関心を寄せる」「教育的かかわりを強化する」などの2つのポイントが正しく説明されている。	ポイントが1つしか示されていない場合は、20点減点する。各ポイントの説明不足については、最大10点まで減点する。	ポイントが示されていないか、誤って説明されている。	
備考	誤字脱字・文法上の誤りがない。(加点はなく、減点だけが発生する項目)	誤字脱字・文法上の誤りがない。	漢字で書くべきところがひらがなで書かれている。体言止め・箇条書きが多く、適切に理解しているか疑わしい。	誤字脱字がある。助詞の誤りがある。文章が誤っており、意味の理解が困難である。	

令和6年度 科目試験評価票

科目コード	34500	科目名	特別支援教育(令和元年度入学生より)	問題番号	2
科目試験配点基準					
配点	評価規準	よく書けている(A)	おおよそ(B)	もう少し(C)	
10	WHO による知的障害の定義が述べられている。	WHO による知的障害の定義が述べられている。	WHO による知的障害の定義が不完全ながら述べられている。	記述がない。	
15	3つの行動特徴が述べられている。	3つの行動特徴が全て述べられている。	述べられていない行動特徴がある(5点減点)。	記述がない。	
15	担任から相談を受け、一緒に解決の糸口を探す立場であることが明示されている。	担任から相談を受け、一緒に解決の糸口を探す立場であることが明示され、説明されている。	担任から相談を受け、一緒に解決の糸口を探す立場であることに触れられている。	記述がない。または、コーディネーター自身が支援を行うなどの、誤った記述がある。	
10	カウンセリングマインドやリーダーシップの必要性について明示されている。	カウンセリングマインドやリーダーシップの必要性について明示されている。	いずれかのみ説明されている(5点)。	記述がない。	
20	特別支援学校のセンター的機能が6つ挙げられている。	特別支援学校のセンター的機能が6つ挙げられている。	特別支援学校のセンター的機能で、挙げられていないものがある(1つ3点)。	記述がない。	
30	6項目それぞれについて、具体例が最低1つは挙げられている。	6項目それぞれについて、具体例が最低1つは挙げられている。	6項目それぞれについて、具体例が挙げられていないものがある(1つ5点)。	記述がない。	
備考	誤字脱字・文法上の誤りが無い。(加点はなく、減点だけが発生する項目)	誤字脱字・文法上の誤りが無い。	漢字で書くべきところがひらがなで書かれている。体言止め・箇条書きが多く、適切に理解しているか疑わしい。	誤字脱字がある。助詞の誤りがある。文章が誤っており、意味の理解が困難である。	

令和6年度 科目試験評価票

科目コード	34500	科目名	特別支援教育(令和元年度入学生より)	問題番号	3
科目試験配点基準					
配点	評価規準	よく書けている(A)	おおよそ(B)	もう少し(C)	
15	限局性学習症が、特定の学問スキルの学習に限定的な困難を持つことが書かれている。	限局性学習症が、特定の学問スキルの学習に限定的な困難を持つことが書かれている。	限局性学習症が、特定の学問スキルの学習に限定的な困難を持つことに触れられている。	記述がないか、学問スキルの内容などに誤りがある。	
10	限局性学習症の診断上の注意点が述べられている。	他の障害ではないことを明示する。なお、DSM-5-TRでは知的発達症との重複は除外基準でなくなったので、これは記載しなくても良い。	他の障害ではないことが書かれているが、不完全である。	記述がないか、障害名などに誤りがある。	
15	巡回相談員および専門家チームと行う連携内容が正しく述べられている。	校内委員会で収集した情報の整理、個別の教育支援計画のまとめ、ニーズの聴取などについて説明されている。	連携内容が一部記載されているが、不完全である。(概ね1項目につき、5点換算。ただし、詳細な説明があれば項目数は少なくても良い。)	記述がないか、誤った連携内容が記載されている。	
10	個人情報の取り扱いについて記載されている。	外部との連携を行うため、個人情報の取り扱いに留意することが明記されている。	個人情報の取り扱いについて触れられている。	記述がない。	
10	法律が挙げられている。	「障害者差別解消法」の説明がある。	/	記述がない。	
20	障害者権利条約の歴史的経緯や、教育条項の中で合理的配慮の提供が求められたことが書かれている。	障害者権利条約の歴史的経緯や、教育条項の中で合理的配慮の提供が求められたことが書かれている。	歴史的経緯が書かれていない(10点減点)か、条項について触れられていない(10点減点)。	記述がないか、誤っている。	
15	合理的配慮の定義が述べられている。	完全な合理的配慮の定義が述べられている。	合理的配慮の定義について触れられている。	記述がないか、誤っている。	
5	合理的配慮の具体例が述べられている。	合理的配慮の具体例が述べられている。	/	合理的配慮の具体例が述べられていないか、誤った例が述べられている。	
備考	誤字脱字・文法上の誤りがない。(加点はなく、減点だけが発生する項目)	誤字脱字・文法上の誤りがない。	漢字で書くべきところがひらがなで書かれている。体言止め・箇条書きが多く、適切に理解しているか疑わしい。	誤字脱字がある。助詞の誤りがある。文章が誤っており、意味の理解が困難である。	